

日本作業療法教育研究会ニュース 第 66 号

2018年 5月 15日発行
日本作業療法教育研究会

＝紙面案内＝

- 1面 : コラム
2面 : 第23回日本作業療法教育学会集
3面 : 日本作業療法学会モーニングセミナー
3面 : 誤掲載に関するお詫び
4～5面 : 事務局からのお知らせ

事務局

〒723-0053 広島県三原市学園町1-1
県立広島大学 保健福祉学部 古山千佳子
TEL・FAX: 0848-60-1237
E-mail otkyoiku@gmail.com

作業療法の世界とつながる高等学校教科 ～家政科 OTリクルート大作戦～

福岡保健学院 八千代リハビリテーション学院
柴田 美雅

この春、養成校を卒業し、めでたく「作業療法士」としてそれぞれの社会に出た新人作業療法士たちは、今この瞬間も初めての毎日の中で、きっと奮闘しながらも頑張っていることでしょう。我々、養成校教員の役割は、入学してきた学生を無事に育て上げることに留まらず、作業療法士を志すきっかけ作りや、仕事のやりがい・楽しさといった、夢を伝えるという業務も付帯している。それは、高校進路ガイダンスなどを通し、これからの進路・将来を考える高校生に向けた作業療法に関する説明や体験授業を実施する業務も少なくないだろう。これは高校生にとって、作業療法の世界とつながる出会いであるが、それ以上に、自分自身の将来に向けた社会への入り口にもなっている。

進学と同時に社会へ出ていくことを考える時期に、高校生は高校生なりの、これまでの学校生活を振り返りつつ、「一体自分は何にむいているのだろうか」「勉強や部活動を通して自分が活かせることは何があるのだろうか」と等身大の自分に自問自答している。千葉県内には、《家政科》のある高等学校が8校ある。また、[家庭に関する学科設置高等学校一覧]を見ると、各高等学校において現在様々なコース・学科名でその専門教育を主としている。

・生活科学科 ・生活福祉科 ・生活デザイン科 ・生活環境科 ・生活創造科 ・生活文化科

作業療法に携わる者としては、どれも興味を惹かれる学科名である。ほとんどはいわゆる《家政科》であるが、近年各校の強みや特徴を出した、【調理】【被服】【保育】【福祉】等を主とした学科名で、専門教科を履修するようになっている。先日、家政科のある高校に進路ガイダンスへ伺った際、こんな話をした。

—作業療法士がリハビリテーションで用いる「作業」について、その作業の中には【調理】や【更衣】が含まれ、対象者にとってその作業を最適に遂行するための【道具】や【洋服】についても考える—

その後、「自分が家政科で学んできた調理や被服の知識や技術が、作業療法という医療福祉分野の仕事で役に立てる可能性があることがわかり、これまでやってきたことは無駄じゃなかったのだと、すごく救われました」と、とても生き生きとした表情で高校生が話かけてくれた。作業療法の世界には多彩な可能性があることと、《家政科》で学ぶ高校生にもそれ以上の可能性があることを、私たちはもっと彼ら彼女らが学んできた「家政」に関わる作業を通して、その魅力や夢を伝えてあげられることが出来ると思う。ぜひ家政科のある高等学校で「作業療法の世界とつながろう」を合言葉に、未来のOTをリクルートしてみましょ

お知らせ

第23回 日本作業療法教育学会

in 岡山

「作業療法教育新時代 ～養成教育・臨床教育の方法論考究～」

大会長 籾脇 健司 (吉備国際大学)

理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則と指導ガイドラインの改定に向け、昨年12月に厚生労働省によるカリキュラム等改善検討会の報告書がまとめられました。ここでは、国民の信頼と期待に応える質の高い作業療法士を養成するために、総単位数、臨床実習の在り方、専任教員の要件などについて、大幅に見直されています。この指定規則は平成32年度の入学生より適用され、実に21年ぶりの改定となりますが、この間の社会保障制度の変化や学生の主体的な学びを促す教育方法への転換に対応する新しい指定規則の施行は、まさに作業療法教育新時代の幕開けと言えるものです。

そこで今回、「作業療法教育新時代～養成教育・臨床教育の方法論考究」をテーマとし、岡山大学病院を会場として学会を開催します。この学会では、養成教育と臨床教育、すなわち養成校教員と臨床実践者が一体となって作業療法教育の方法論を考究する（深く掘り下げて考えきわめる）ことで、新時代の幕開けにそなえたいと思います。特に、これからの作業療法教育において、臨床実践者が果たすべき役割はますます大きくなります。当研究会では前回の学会に引き続き、臨床教育の質の向上に貢献できるよう臨床家が参加しやすいプログラムを多数企画しました。

基調講演として、日本作業療法士協会理事で教育部部長の陣内大輔先生に作業療法教育新時代に向けた作業療法士のあり方を指し示すご講演をいただきます。また、特別講演では、リハビリテーション教育におけるICTの活用、臨床実習における学生教育やSV・CE育成という、非常に実践的な内容のご講演をいただき、方法論の理解を深めます。そして、シンポジウムでは、日本作業療法士協会、養成校教員、臨床実践者を代表するシンポジストをお招きし、指定規則改定に向けた臨床教育の方法論について、議論していきたいと思っております。

会員の皆様には、作業療法教育に関する研究を口述発表やフラッシュトーク&ポスター発表していただくことで、養成校教員と臨床実践者間の議論や交流を深める機会にしたいと思います。今回は教育の方法論考究に資する発表をテーマ演題として採択する予定です。プログラムの詳細と演題募集要項は別紙をご参照下さい。多くの皆様のご参加と演題発表を心からお待ちしております。

養成教育・臨床教育の方法論考究

作業療法教育新時代

第23回
日本作業療法教育学会

The 23rd Annual Meeting of Japanese Society of Occupational Therapy Education

【会期】
2018年10月13日(土)・14日(日)

【会場】
岡山大学病院 〒700-8555
岡山県北區藤田2-5-1
(医学部医学科基礎医学講義実習棟)

【プログラム】
■ 基調講演 ■ 特別講演 ■ シンポジウム
■ 一般口述発表 ■ フラッシュトーク&ポスター発表 など

演題募集期間 2018年6月1日(日)～7月31日(日)

【大会長】
籾脇 健司 吉備国際大学 教授

【後援】 一般社団法人岡山県作業療法士会 吉備国際大学

研究会公式サイト <http://joted.com> Facebook ページ <http://www.facebook.com/jotedu>

学会事務局 吉備国際大学健康福祉学部作業療法学科 〒710-0018 岡山県東区北町1-1 E-mail: joted@kai.ac.jp 日本作業療法教育研究会事務局 岡山県立岡山大学健康福祉学部作業療法学科岡山研究室 〒723-0083 広島県東区中野町1-1 E-mail: okjyokai@gmail.com

第 52 回 日本作業療法学会のモーニングセミナーに 採択されました！！

日本作業療法教育研究会事務局
古山千佳子

第 52 回日本作業療法学会のモーニングセミナーに、日本作業療法教育研究会主催の企画が採択されました。作業療法教育、特に臨床教育に興味・関心のある方は是非、ご参加ください。

テーマ : 変わりゆく臨床実習にどう応えるか: 作業療法学生のコンピテンシーとその評価

セミナー区分: モーニングセミナー

日時 : 2019 年 9 月 8 日(土)8:50~10:20

会場 : 第 8 会場

司会 : 佐藤 善久(日本作業療法教育研究会副会長, 東北福祉大学)

話題提供者: 鈴木 孝治(藤田保健衛生大学)

小林 幸治(作業療法教育研究会理事, 目白大学)

酒井 ひとみ(作業療法教育研究会理事, 関西福祉科学大学)

概要 :

臨床実習における環境は大きく変化しており、臨床実習の在り方とともに実習の成果となる学生の評価は重要な課題といえる。このセミナーでは 3 名の方々に、国内外のコンピテンシーに関する話題提供を行なってもらい、臨床実習における学生のコンピテンシーについて議論する。鈴木氏には、「臨床実習における学生の到達目標」をテーマに、OT 協会が考える臨床実習と学生評価に関する話題提供を行ってもらう。また、小林氏には、「臨床実習のコンピテンシーとその評価」というテーマで、酒井氏には「カナダのコンピテンシーに基づく作業療法士のための実習評価(CBFE-OT)の紹介」というテーマで、それぞれ話題提供を行ってもらう(抄録より作成)。

作業療法教育研究 17 巻 2 号での誤掲載に関するお詫び

平素は、作業療法教育研究会の活動に対してご理解とご協力を下さり、ありがとうございます。
2018 年 2 月に発行した「作業療法教育研究」17 巻 2 号について、次の掲載の誤りが生じました。

9 ページ 長倉寿子氏のシンポジウム抄録の文章が、10 ページ 酒井ひとみ氏・他氏の箇所にも 2 重に掲載され、酒井ひとみ氏・他氏の抄録が掲載されなかった。

この誤りは、学術集会抄録を本誌用に編集した際に生じたものです。関係諸氏および会員の皆様には、たいへんご迷惑をおかけいたしました。本件に対する訂正を、次のようにいたします。

- 研究会ホームページに正しい原稿を掲載します。
- 会員の皆様に、本来 10 ページに掲載されるはずだった差し替えページを郵送します。
- 研究会ニュースでもお詫びの報告をさせていただきます。

今後、このような事が生じないよう、細心の手立てを取ってまいりたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

平成 30 年 4 月 20 日
作業療法教育研究 編集委員 小林幸治

事務局だより

【じむきょく】 - 事務局よりお知らせ -

会員募集のお知らせ

作業療法教育研究会では、会員を募集しています。

この研究会では、より質の高い作業療法教育の実現を目指して、教育現場における様々な問題提起や問題解決に取り組んでいます。

主な活動は、年1回の学術集会、年1～2回の学術誌「作業療法教育研究」の発行、年2～4回のニュース発行、ホームページを通じた情報発信と情報共有です。現在の会員数234名、賛助会員1法人です。

作業療法士教育に興味、関心のある方は、是非ご入会ください。お待ちしております。

詳細は、日本作業療法教育研究会ホームページ 入会案内 <http://www.joted.com/> をご覧下さい。

入会金：1,000円 年会費：3,000円 賛助会員 一口10,000円

振込口座 郵便振り替え 01320-2-58224 日本作業療法教育研究会

問い合わせ先 事務局 広島県三原市学園町1-1

県立広島大学 作業療法学科 古山研究室内 E-mail: otkyoiku@gmail.com

OT教育研究会ニュース メール配信します！

OT教育研究会ニュースのメール配信を始めました。情報をより早く、お届けすることができます。これまでの郵送からメール配信へ切り替えご希望の方は下記メールアドレスまでご連絡ください。なお、登録いただいたメールアドレスには学術集会のご案内など本研究会のいろいろな情報をお送りしていく予定です。ホームページもあわせてご覧ください。

研究費助成募集

2017 年度は 1 件の応募があり、採択されました。

＊西井正樹（白鳳短期大学）

作業療法における実習前教育水準の均等化に向けたルーブリック評価の研究・開発
（50,000 円）

研究期間は原則採択通知を受けた日から 2 年です。

研究成果は、日本作業療法教育研究学会ならびに機関誌「作業療法教育研究」で
発表されます。

「作業療法教育研究」投稿原稿募集のお知らせ

日本作業療法教育研究会では、機関誌「作業療法教育研究」の発刊を年 1 回行っています。広く会員の皆様からの論文の投稿をお待ちしております。機関誌にあります投稿規程をご覧ください。規定に沿って準備し事務局あてにお送りください。ご不明な点などございましたら、研究会事務局までお問い合わせください。なお、査読は受付日順に行います。原稿受理日によっては、次号の掲載になることもありますので、あらかじめご了承ください。

（ホームページ <http://www.joted.com>）

編集後記

ゴールデンウィークも終わりました。休みの期間中、薪棚を作成し、家の壁と柵にペンキを塗りました。子供も手伝ってくれるのですが、なにぶん 7 歳と 3 歳・・・戦力にならず。余計仕事が増えました。でも、その気持ちがうれしいですね。教員になって 10 年以上になりましたが、学生の学力不足は否めませんが、心やさしい学生も増えてきました。なにかと仕事が増えるのですが・・・（西井正樹）